

令和2年度 第1回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 令和2年8月27日（木曜日） 午後1時55分から午後4時4分まで

2 場 所 長野市役所 第一庁舎7階 第1・2委員会室

3 出席者

（出席委員）

中山 淳 委員長

小口 壽夫 委員

北村 正博 委員

小林 邦一 委員

坂口 直子 委員

柳原 静子 委員

（委員以外の出席者）

池田 宇一 （地方独立行政法人長野市民病院理事長）

平井 一也 （ 同 副理事長）

内山 詞恵 （ 同 理事）

松本 孝生 （ 同 理事）

渡辺 敏明 （ 同 経営企画室企画課長）

福島 孝志 （ 同 総務人事課長）

（事務局）

中澤 和彦 （長野市保健福祉部長）

小林 雅裕 （長野市保健福祉部医療連携推進課長）

相澤 優充 （ 同 医療連携推進課長補佐）

立山 晴樹 （ 同 医療連携推進課係長）

吉田 稚菜 （ 同 医療連携推進課主事）

4 議 事

（報告事項）

（1）令和元年度の財務諸表等について

・令和元年度決算の概要

【資料 1-1】

・財務諸表等

【資料 1-2】

・事業報告書

【資料 1-3】

・監査報告書

【資料 1-4】

（2）令和2年度 年度計画について

・地方独立行政法人長野市民病院 2020年度年度計画

【資料 2-1】

・第2期中期計画・2020年度年度計画 対照表 【資料 2-2】
(協議事項)

(3) 評価等の進め方について

・長野市民病院の業務実績評価について 【資料 3-1】

・(地独) 長野市民病院の業務の実績に関する評価実施要領 【資料 3-2】

(4) 令和元年度の業務実績に関する評価について

・令和元年度業務実績報告書 【資料 4-1】

・令和元年度業務実績自己評価一覧 【資料 4-2】

○ 開 会 午後1時55分

(事務局)

皆様お揃いになりましたので、始めさせていただきます。委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は、全委員がご出席されており、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第7条第2項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただいまから、令和2年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

本日の会議は、午後4時頃の終了を予定しております。

また、委員会は、公開で行い、議事録調製のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いします。

それでは、本年度第1回の評価委員会の開催に当たり、中澤保健福祉部長からご挨拶を申し上げます。

(中澤保健福祉部長)

ただいま紹介を受けました、保健福祉部長の中澤と申します。

本日は、公私ともにお忙しい中、お集りいただき誠にありがとうございます。

平成28年度に長野市民病院が地方独立行政法人へ移行して早4年が経過し、昨年度からは、第2期中期計画に基づく病院運営がスタートしたところでございます。この間、長野市民病院の運営については、池田理事長をはじめ、病院スタッフのご尽力はもとより、委員各位のご助言ご指導により順調に推移しているものと認識しており、改めてお礼を申し上げます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、ご承知のとおり、社会全体に大きな打撃を及ぼしており、本日お集りの委員におかれましても、それぞれのお立場で様々なご苦労や影響を受けているものとお察しいたします。

本市では、今年度既に3回の補正予算を編成し、感染拡大防止のための検査体制等の整備及び経済活動再開に向けた支援を実施しているところでございます。医療機関への支援策としましては、感染予防物資の購入に対する補助金や、クラウドファンディングを活用した医療従事者への応援金の募集等を実施しております。

今後は、経済活動が徐々に再開していく中で、新しい生活様式の定着など、感染を広げない対応が重要であり、引き続き、長野市民病院をはじめ、関係する医療機関及びPCR検査センター

を運営する医師会と情報交換を行いながら、市民のために対応してまいりたいと考えております。

本年度の評価委員会では、令和元年度の業務実績評価についてご審議いただく予定であります。委員各位の評価を通じまして、医療サービスの向上や、市民病院の業務改善が一層図られることを期待しております。

皆様には、それぞれの専門のお立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

(事務局)

本日は、新しく就任された委員さんもお出席されていますので、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと存じます。恐れ入りますが、机の上に配布しました委員会名簿の順に小口委員から順番に自己紹介をお願いいたします。

<委員自己紹介>

(事務局)

次に、事務局から自己紹介申し上げます。

<事務局職員自己紹介>

続きまして、本日、地方独立行政法人長野市民病院の役職員が出席しておりますので、自己紹介させていただきます。

<法人職員自己紹介>

(事務局)

次に、中山委員長からご挨拶をお願いいたします。

(中山委員長)

本日は、コロナ禍の中、また残暑厳しい中、長野市民病院評価委員会にご出席いただきありがとうございます。本年度も昨年度と同様に、建設的かつ有意義な審議をお願いできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

次に、本日ご審議いただく、令和元年度の業務実績評価は、評価委員会条例第2条第1項第2号の規定により、評価委員会は、市長の諮問に応じて、意見を述べることとなっております。

本件を評価委員会へ諮問させていただきますので、保健福祉部長から委員長へ諮問書を伝達いたします。

<諮問書交付>

(事務局)

それでは議事に入らせていただきます。評価委員会条例第7条第1項の規定により、委員長が

議長となりますので、ここからは中山委員長に議事の進行をお願いいたします。

（中山委員長）

それでは、報告事項（１）令和元年度の財務諸表等につきまして、長野市民病院からご説明をお願いします。

（市民病院）

資料１－１～４について説明

（中山委員長）

ご説明ありがとうございました。それでは、（１）令和元年度の財務諸表等について、ご質問いただければと思います。いかがでしょうか。

（小林委員）

市民病院の職員の皆さんが努力された結果が出ているものと思います。敬意を表したいと思います。市民が決算を知る機会がありますか。病院の皆さんが努力した結果を、市民に見えるようなかたちで知ってもらうことは、働いている人たちにとっても士気が上がることで、非常に意味のあることだと思いますが、いかがでしょうか。

（市民病院）

地方独立行政法人は、決算状況を公表することが義務付けられており、６月末までに市長に報告が済み次第、ホームページにおいて開示しています。市民の皆さんは、当年度の業績はもちろん、これまでの業績についてもホームページにおいて一覧でご覧いただけます。

（小林委員）

決算を見た市民からの反応は何かありましたか。

（市民病院）

今のところ、直接病院にお問い合わせをいただいたことはありません。

（中山委員長）

今の質問に関連しますが、市民の方は、数値だけを見てもなかなか理解は難しいのではと思います。事業報告書の「全体的な状況」の「総括」の部分だけでも、市の広報などに掲載していただくと、市民の方々に具体的な活動内容を理解してもらえんと思います。

（坂口委員）

経常収支比率、医業収支比率の中には、他の会計からの負担金、補助金などが含まれていると思います。それらを含めない純医業収支で全国的に比較していることと思いますが、そういう中

で市民病院のベンチマークはどのくらいなのでしょう。

（市民病院）

純医業収支比率については、事業報告書の24ページの指標・目標の上から2つ目に医業収支比率がございます。算式は、分子に運営費負担金等を除く医業収益、分母に医業費用となっておりますが、専門的な観点から申し上げますと、団体によって捉え方が多少違ってきます。昨年10月に消費税が2%上がりましたが、病院以外の民間の事業者は、仕入に係る消費税と収入に係る消費税とを相殺して処理できますが、病院の場合は、ほとんどが非課税収入となっているため、消費税は払い損というか、ほとんどが持ち出しになってしまいます。持ち出しになってしまう消費税を医業費用に含めるか含めないかについては、団体ごとに考え方が異なっており、当法人では厚生労働省の基準に従って消費税を医業費用に含めています。2019年度は、医業収支比率は94.2%ですが、消費税を除いて計算すると、医業収支比率が2、3ポイント改善し、96～97%となり、全国の病院とベンチマークできるようになります。民間病院ですと、医業収支比率が100を超えないと経営できないということになるわけですが、97%という数字は、他の自治体病院と比較して遜色ない数字で、基幹病院としてはまあまあの数字です。しかし、他の優秀な病院ですと100を超えてきますので、私どももそこを目指さなければいけないと考えております。

（小口委員）

市民病院は、ここ数年、億単位で純利益を出しており、経営が安定してきています。病院経営は黒字だけ出せばいいということではなくて、医療の質を伴った病院経営が来ているか判断するわけですが、市民病院に関しては、医療の質も非常に高く、県内を見回しても最高に近い上に、これだけの利益を出していて非常に素晴らしい。特に池田病院長が来られてから安定してきており、敬意を表したいと思います。

（中山委員長）

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。次の議題に移りたいと思います。

報告事項（2）令和2年度の年度計画について、長野市民病院から説明をお願いいたします。

（市民病院）

資料2－1～2について説明

（中山委員長）

ありがとうございます。ご質問等がありましたらお願いいたします。

（小林委員）

予算では、運営費負担金が前年より減っていますが、合理的な理由に基づく減少ですか。

(事務局)

運営費負担金は、総務省が定める繰出基準に則して算定をしており、利益が出たから負担金を減らすという仕組みではありません。

(小口委員)

新型コロナによる影響が大きいと思いますが、年度計画策定時には予見できなかったため、どこの病院でも年度計画に反映していない。市民病院で計画していることがあれば教えてほしい。

また、令和元年度の影響は3月だけだと思いますが、どの程度だったのでしょうか。

(市民病院)

当院は紹介患者の割合が多く、全身麻酔手術による手術が主な収入源ですが、紹介から手術までに半月程度のタイムラグがあり、2月に紹介いただいた患者が手術をするのは3月になります。したがって、患者が減り始めたのは2月から3月ですが、3月度は、極端な収支の悪化はなく、前年並みでした。その後、4月から5月には大きく影響を受け、6月には少し回復し、7月、8月は横ばいで推移している状況です。

年度計画におけるコロナ対策につきましては、紹介患者に急性期治療を行いお返しするという点では、地域医療連携室を中心にかかりつけ医への働きかけを行い、かかりつけ医とのパイプをなお一層強めてまいります。また、費用面では、増収対策プロジェクト及びコスト適正化プロジェクトを通して、無駄な費用の削減及び業務の効率化などコロナ後を見据えた体質改善を図っていきたいと考えています。

(小口委員)

どこの病院も困っている中で、市民病院は県内の病院の模範となるようにやっていただきたい。今後は、オンライン診療の検討も進めていかなければならないと思います。救急外来では、発熱外来などの対応も検討していますか。

(市民病院)

救急外来では、熱中症を含めて、発熱の患者さんが多いので、診察時に熱のある方とない方に分けて対応する発熱トリアージを行うとともに、事務員が入館する人に非接触型体温計で検温し、熱があつて救急を受診する人は動線を別にして案内する等の対応を行っています。また、間もなく承認される抗原の定量検査や、PCR検査より短時間で行えるTRC検査を導入し、より迅速に検査できるように準備しています。

(中山委員長)

ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。

では、次の議題に移りたいと思います。協議事項(3)評価等の進め方について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料３－１～２について説明

(中山委員長)

ありがとうございました。ご質問等がありましたらお願いします。

特にないようですので、協議事項（４）令和元年度の業務実績に関する評価について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

それでは、資料４－１をご覧ください。

これは、６月２９日付けで長野市長に提出された「令和元年度業務実績報告書」でございます。

また、資料４－２につきましては、法人の自己評価を一覧表にしたものでございます。

先ほどご説明しました評価実施要領に基づき、この報告書に沿いまして、中項目ごとの評価をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(中山委員長)

審議の進め方ですが、まず、長野市民病院から中項目ごとにご説明いただきます。

その後、委員の皆様から、中項目ごとにご質問とご意見をいただき、評価委員会としての評価点を提示するようにしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

(一同承認)

それでは、長野市民病院から説明をお願いします。

(市民病院)

資料４－１～２

大項目第１、中項目１「市民病院が担うべき医療」

小項目（１）～（３）について説明

(中山委員長)

小項目がたくさんありますので、一旦ここまでで区切ってご意見をいただきたいと思います。救急、がん、脳・心臓・血管診療の３つの大きな柱ですが、いかがでしょうか。

(柳原委員)

１２ページの「がん周術期等の口腔ケアの推進」とありますが、私たちのボランティア団体でも、歌を唄ったり、口を開けたり、高齢者が元気になるような口腔ケアの活動をしています。がん診療と口腔ケアが連携していることを知らなくて、もっとしっかり勉強したいと思いました。出前講座もお願いしたいと思いますので、手軽に地域で簡単にできる口腔ケア活動をもう一歩進めて、

がんとの関わりを強調していただけたらいいと思います。嚥下障害になると困るから口の中に唾をためましょう、と活動をしてきましたが、口腔ケアが、がん診療につながるということで、非常に興味深く読ませていただきました。

（中山委員長）

貴重なご意見ありがとうございます。

（小口委員）

市民病院はレベルが高いので、もう少し高い評価でもいいと思う項目でも、評価基準で見ていると4が妥当ということになってしまいます。いい方法がないか考えていますが、ベンチマークで見るといってもなかなか難しいところです。

（小林委員）

評価基準の考え方をどうするか、方針をはっきりさせておく必要があります。世間の標準を前提に評価するのか、当院としての標準を前提に評価するのか、どこかでそれを明らかにしておかなければいけないと思います。

（小口委員）

この評価は、公表されますからね。

（小林委員）

ですから、なおさら前提をはっきりしておかないと、評価が4だから世間並みなのかと思われてもいけませんし、正しい評価ではないと思います。

（小口委員）

小項目では、評価5とした項目もありますか。

（市民病院）

小項目で評価5としたのは、2項目です。

（中山委員長）

令和元年度は、この評価基準で評価するということです。しかし、今後どうしていくかという点については検討の余地があると思います。

（事務局）

この評価は、絶対評価であり、目標に対して達成できたか、できなかったかという観点で評価するのが定義になります。この点は、昨年度からの議論ですが、既に第2期中期計画が始まっていますので、今期は、この定義で続けさせていただき、来年度から第3期中期目標の策定作業に

入りますので、その中で、絶対評価に加えて、ベンチマークや全国平均との比較を取り入れることも必要ではないかと議論をお聞きして考えているところです。

今回に関しては、絶対評価で評価をお願いしたいと思います。

(中山委員長)

他にはよろしいでしょうか。

それでは、次の項目の説明をお願いいたします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第1、中項目1「市民病院が担うべき医療」

小項目(4)～(9)について説明

(中山委員長)

小項目(4)から(9)に関して、ご意見をいただけますでしょうか。

(柳原委員)

これまでに何度か全身麻酔を受けたことがあります。麻酔時の説明に怖い印象を持っています。説明時の文章を見て、患者や家族は恐怖を感じますが、麻酔科の先生のフォローもありません。どこの病院でも同じです。患者や家族が安心して聞いてもらえるような説明方法がないものかお聞きしたいです。

(市民病院)

時代背景が難しく、説明と同意において、何か説明が漏れていると、後で何かあったときに対応が大変になってしまうため、説明書には細かい内容まで記載されています。患者さんが怖いという印象を持たれているとしたら、私たち医師の意図するところではありませんので、医師が人間として補わなければなりません。おそらくその時間が十分とれないため、どこの急性期病院でも現状のような対応になっているものと思います。実際には、麻酔もすごく進歩していて、ほとんどの場合大きな問題もなく、手術が終わっています。

(中山委員長)

小項目(4)から(9)に関して、他にはよろしいでしょうか。

それでは、中項目1の評価は、自己評価は4ですが、委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それでは、評価を4とさせていただきます。

次に、中項目の2、「患者サービスの向上」についてご説明をお願いします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第1、中項目2「患者サービスの向上」について説明

(中山委員長)

中項目2に関して、ご意見をいただけますでしょうか。

よろしいでしょうか。

自己評価は4ですが、委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それでは、評価を4とさせていただきます。

次に、中項目の3、「医療に関する調査及び研究」についてご説明をお願いします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第1、中項目3「医療に関する調査及び研究」について説明

(中山委員長)

中項目3に関して、ご質問ご意見等ありますでしょうか。

長野市民病院医学雑誌の発行は素晴らしいことだと思います。これはインターネットで一般の方も見るができますか。

(市民病院)

ホームページに掲載していますので、ご覧いただくことができます。

(中山委員長)

他にはよろしいでしょうか。

それでは、自己評価は4ですが、委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

それでは、中項目の4、「医療提供体制の充実」についてご説明をお願いします。

(市民病院)

資料4－1～2

大項目第1、中項目4「医療提供体制の充実」について説明

(中山委員長)

それでは、質問コメント等ありますでしょうか。

(坂口委員)

31 ページの訪問看護件数の説明で、「過去2年間に急増した反動で」とありますが、反動というのは抽象的なものですし、エビデンスがどこにあるのか、院内の訪問看護体制の問題なのか、外部環境に問題があるのか、ボトルネックをはっきりさせる説明が必要ではないかと思います。

(中山委員長)

ありがとうございます。その点よろしくお願いします。

他にはいかがでしょうか。

(小口委員)

紹介率と逆紹介率のところで、新患が増えたという説明をされましたが、紹介率はともかく、逆紹介率は、自院の努力で改善できる部分です。池田病院長が来られて紹介率がかなり上がってきていますが、逆紹介率はもっと努力して、外に返してあげることが必要だと思います。少し数値が低いような気がします。

(市民病院)

諏訪赤十字病院は、逆紹介率が100%を超えていますね。当院でも診療部に言っていますが、がん患者が多く、診療所の負担になってしまうこともあり、すぐに逆紹介できずに当院で診ざるを得ないという部分もあります。先生が言われるとおり、もう少し改善するべきであると感じています。

(小口委員)

中項目の評価では変わりませんが、この小項目の評価は4ではなく、3でもいいと思いました。

(中山委員長)

ぜひご検討いただきたいと思います。

他にはよろしいでしょうか。

では、自己評価は4ですが、委員会の評価は、4ということでよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

では、次の大項目の第2、中項目の1、「経営管理機能の充実」についてご説明をお願いします。

時間がかかり押しておりますので、簡潔に要点だけ説明をお願いします。

(市民病院)

資料４－１～２

大項目第２、中項目１「経営管理機能の充実」について説明

(中山委員長)

それでは、質問コメント等いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、自己評価は３ですが、委員会の評価は、３でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

では、次の項目のご説明をお願いします。

(市民病院)

資料４－１～２

大項目第２、中項目２「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」について説明

(中山委員長)

それでは、質問コメント等いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、自己評価は３ですが、委員会の評価は、３でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

それでは、時間となりましたので本日の審議は、ここまでとさせていただきます。

本日の結果は、事務局で整理していただき、次回の評価委員会で確認し、続きの審議を行いたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員の先生方には、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

それでは、事務局へ進行をお返しいたします。よろしくお願いいたします。

(事務局)

次第の、「５ その他」といたしまして、事務局から今後の予定につきましてご説明申し上げます。

(事務局)

次回、第2回評価委員会につきましては、10月15日(木)を予定しております。本日の続きの部分、大項目の第3以降について評価をお願いしたいと思います。期間も少し空きますので、本日評価いただいた部分についても改めてご意見をお出しいただく機会を作りたいと考えております。また、本日いただいたご意見を事務局で整理させていただき、評価委員会としての意見書案についてご審議をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会いたします。長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。

○ 閉 会 午後4時4分